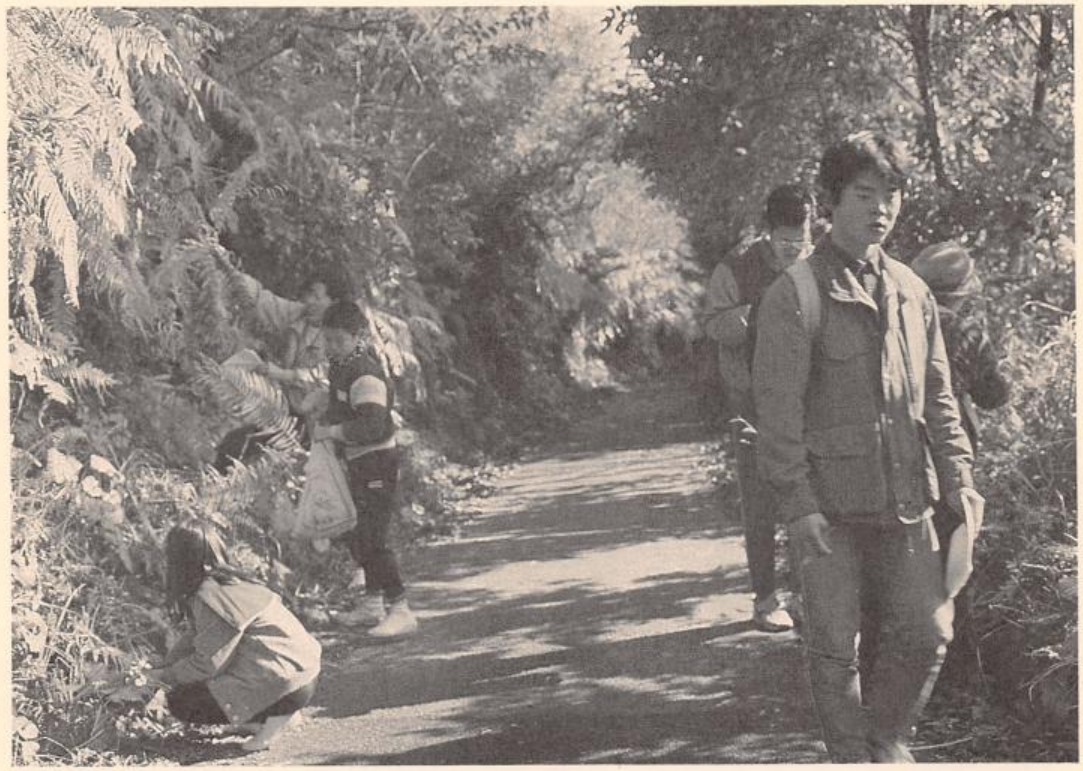
調べよう鹿児島の自然

No.2



鹿児島県立博物館

——1989——

調べよう鹿児島の自然　No 2

目　　次

事業の概要 …… (1)
昭和63年度の経過 …… (2)
路傍300種学習会の記録（1988） …… (3)

動　物

Ⅰ．自然調査会の記録 …… (6)
Ⅱ．対象種の記録 …… (7)

1．メダカ …… (7)
2．カダヤシ …… (7)
3．アメリカザリガニ …… (8)
4．タガメ …… (9)
5．ハッチョウトンボ …… (9)
6．ゲンジボタル …… (10)
7．ヘイケボタル …… (12)
8．カワセミ …… (13)
9．タテハモドキ …… (14)
10．ツマベニチョウ …… (16)
11．テナガエビ類 …… (17)
12．ドジョウ …… (18)
13．トノサマガエル …… (19)
14．クマゼミ …… (19)
15．ミンミンゼミ …… (21)
16．ベニトンボ …… (22)
17．キイロスジボタル …… (22)
18．メスアカムラサキ …… (23)
19．タヌキ …… (24)
20．キツネ …… (24)

植　物

Ⅰ．自然調査会の記録 …… (25)
Ⅱ．対象種の記録 …… (27)

1．ハルニレ …… (27)
2．アオモジ …… (28)
3．シマイズセンリョウ …… (29)
4．ブタクサ …… (30)
5．イワダレソウ …… (30)
6．オオマツヨイグサ …… (30)
7．マツヨイグサ …… (31)
8．アレチマツヨイグサ …… (31)
9．コマツヨイグサ …… (31)
10．ホウライシダ …… (32)
11．イタジイ …… (33)
12．コジイ …… (34)
13．ヒメジョオン …… (35)
14．ハルジョオン …… (35)
15．セイタカアワダチソウ …… (36)
16．シロバナタンポポ …… (37)
17．セイヨウタンポポ …… (38)
18．アカバナタンポポ …… (38)
19．ハチジョウカグマ …… (39)
20．コモチシダ …… (40)

地　学

Ⅰ．はじめに …… (41)
Ⅱ．自然調査会の記録 …… (41)
Ⅲ．調査結果の記録 …… (42)

1．鹿児島市とその周辺の記録 …… (42)
2．薩摩半島南部の調査 …… (48)
3．大隅半島南部の調査 …… (50)
4．その他の地域の調査 …… (54)

Ⅳ．調査結果のまとめ …… (54)
Ⅴ．今後の課題 …… (58)

天　文

四季の星座 …… (59)

事業の概要

1．趣　旨

科学に親しむ風土づくりをめざす博物館では，来館者を対象にしたもののほかに，自然に関する館外活動として「路傍300種に親しむ運動」を３年間推進してきた。昨年度からスタートした「調べよう鹿児島の自然」は，それをさらに一歩深め，県民の積極的な参加を求める新しい事業である。

これは，多くの県民の方々に，各地の生物，地学，天文等の自然に関する情報や資料を寄せていただき，それらを集約・検討しながら，科学の世界に一歩ふみ込み，自然や科学への理解を深めてもらうことを目的としている。

2．事業概要

昭和62年度から５カ年間計画で推進しているが，初年度は特定の動植物各10種，岩石１種の分布調査及び星の観測地地図の作成を開始し，さらに昭和63年度は，動・植物の調査対象を各10種増やした。そのため，初心者を対象にした「路傍300種学習会」，さらに深く調査していただく人たちを対象にした「自然調査会」を実施し，このほか一般県民からのデータも収集する。また，調査結果は年度ごとに報告書を作成して還元し，また博物館の展示等で活用する。

なお，この調査は自主的学習であり，また必要経費は個人負担になる。

3．調査対象

動　物　（20種類）…（下線は63年度からの追加種）

種類：（魚　類）　メダカ，カダヤシ，ドジョウ　（両生類）トノサマガエル

（甲殻類）　アメリカザリガニ，テナガエビ類，（昆虫類）タガメ，ゲンジボタル，ヘイケボタル，ハッチョウトンボ，クマゼミ，ミンミンゼミ，ベニトンボ，キイロスジボタル，メスアカムラサキ，タテハモドキ，ツマベニチョウ

（鳥　類）　カワセミ　（ホ乳類）タヌキ，キツネ

植　物　（20種類）…（下線は63年度からの追加種）

種類：（落葉高木）　ハルニレ，アオモジ，　（常緑高木）　イタジイ，コジイ

（常緑低木）　シマイズセンリョウ

（帰化植物草本）ブタクサ，マツヨイグサ類〈マツヨイグサ，オオマツヨイグサ，アレチマツヨイグサ，コマツヨイグサ〉，ヒメジョオン，ハルジオン，タンポポ類〈アカミタンポポ，シロバナタンポポ，セイヨウタンポポ〉，セイタカアワダチソウ

（海浜植物草本）イワダレソウ

（シダ植物）　ホウライシダ，ハチジョウカグマ，コモチシダ

地　学　（１種）

調査対象：引き続き，降下軽石たい積物の分布を中心に調査する。これは，火山活動の際，火口から放出された軽石が，地表に落下してたい積したもので，シラスの中の軽石は，除外する。

天　文

各季節の代表的な星座を写真に撮り，その写り具合から鹿児島の自然を調べ，天体観測に適した場所を案内する地図を作る。

調査対象：星座（こと，さそり，いて，わし，はくちょう，アンドロメダ，おうし，オリオン，こぐま，ふたご，おおくま，うしかい）と撮影場所の環境。

昭和63年度の経過

2年目を迎えた本事業は，動植物の調査対象種を増やしたこと（各10種），地学の調査票様式を変えたことなど若干の手直しはあったものの，“路傍300種学習会”“自然調査会”“情報資料の収集”と3つの柱のもとに活発に展開された。

鹿児島県版“緑の国勢調査”としてスタートし，これまで2回にわたり，調査員の募集を行った。のべ124名の方々に調査員をお願いし，現在，精力的な調査活動を県下各地で行ってもらっている。また，路傍300種学習会，自然調査会にも多数の参加があり，身近にある生物や岩石などの名前を知ることから始まった学習は，採集，観察，標本作製及び保管，調査などの学習へ展開され，郷土の自然を見直すきっかけとなっている。また同時に，郷土の自然を科学的にとらえようという動きをも作り出している。

今年度はより正確な情報の収集に努めるとともに，情報公開にも努力した年であった。寄せられる情報には必ず，第3者も納得できるように証拠となる標本や写真，録画，録音を添付してもらっている。また，博物館担当職員が現地まで出かけ，情報の正確さを確める場合もあった。一方，博物館理工系担当職員の協力のもとで，パソコンにデータを入力し，それを展示場で入館者が自由に取り出せるシステムを作った。すでに1月より展示場で作動している。また，特別展を企画し，これまで寄せられた情報や資料を展示するとともに，今後の調査課題も提示した。

昭和63年度の主な経過は次のとおりである。

4月27日～5月31日　特別展「ホタルの科学展」でゲンジボタル，ヘイケボタルを紹介するとともにホタル情報の提供を呼びかけた。
5月15日　「路傍300種学習会」　末吉町高岡で実施（250人参加）
7月31日　「路傍300種学習会」　坊津町久志で実施（331人参加）
8月3日　「路傍300種学習会」　加治木町龍門滝付近で実施（151人参加）
10月18日～11月15日　特別展「調べよう鹿児島の自然展」でこれまでの事業の成果を発表した。
9月～2月　調査員の募集。自然調査会の実施。
1月10日　パソコンによる調査結果を集約し，本館2階自然史総合展示場にパソコンを設置して誰でも自由に調査結果を利用できるようにした。
3月25日　「調査の手引き（昭和63年度版）」を発行。

このほか，年間を通して情報の収集を行った。

路傍300種学習会の記録（1988年）

第１回　曽於郡末吉町高岡　5月15日（日）　参加者　250人

〔日程〕

(1) 受　付　　9：30～10：00

(2) 開会式及び出発前の学習　10：00～10：30

(3) 野外観察及び学習　　10：30～12：00

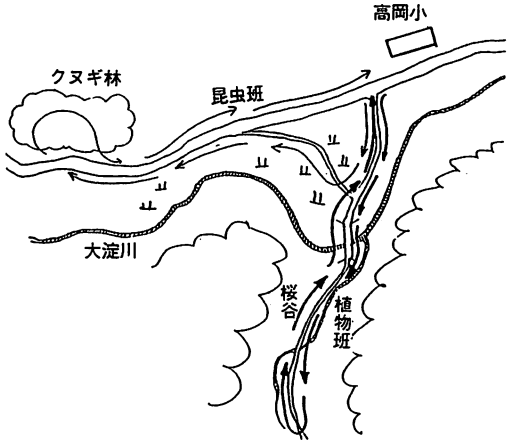
昆虫班，植物班，岩石班……班ごとに，野外コースで，300種の名前調べ，調査対象種の確認，調査・観察・採集の方法などを学習する。

(4) 昼　食　　12：00～13：00

(5) 各班ごとの学習　　13：00～14：00

見わけ方，標本の作り方，保管方法などを学習する。

(6) 閉会式　　14：00～14：30



〔昆虫〕

畑地，大淀川の土手，まだ水のはってない水田の中を走る未舗装の農道，クヌギ林という環境のコースで，300種では，ハグロトンボ，アメンボ，シロオビアワフキ，アオスジアゲハ，アゲハ，モンキアゲハ，モンシロチョウ，キチョウ，ヤマトシジミ，ツマグロヒョウモン，ヒメウラナミジャノメ，クロヒカゲ，ハンミョウ，マメコガネ，テントウムシなどがいた。調査対象種は確認できなかったが，大淀川にはカワニナが多く，ゲンジボタルの生息には良い環境である。

〔植物〕

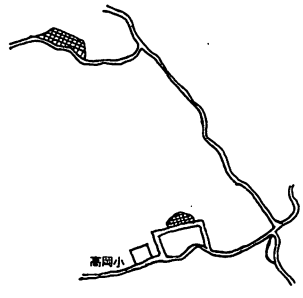
高岡小学校の校庭土手付近には，スズメノヤリ，チガヤ，タチツボスミレ等の草本類が多く生えていた。農道に入ると水田土手にスイカズラ，ナワシロイチゴ，ギシギシ，ヤハズエンドウが生えており，片側はゴキダケのやぶになっており，ツクシヤブウツギ，テリハノイバラ，サルトリイバラ等が見られた。スギ林に入るとヤマイタチシダ，イノデ等のシダ類が見られた。調査対象種としては，アレチマツヨイグサ，コマツヨイグサ，コモチシダを確認した。

〔岩石〕

末吉町高岡一帯の露頭を観察し，ここがどのような岩石からできているのかを学習した。

①中岳農道　・日南層といわれる地層のサ岩とケツ岩
　　・姶良火山噴出のヨウケツギョウカイ岩とシラス

②下高岡農道・姶良火山噴出の大隅降下軽石とその上のシラス
　　・鬼界火山噴出のアカホヤ火山灰と火山豆石



第２回　川辺郡坊津町久志　７月31日（日）　参加者　331人

〔日程〕

(1) 受　付　　9：30～10：00

(2) 開会式及び出発前の学習　10：00～10：30

(3) 野外観察及び学習　　10：30～12：00

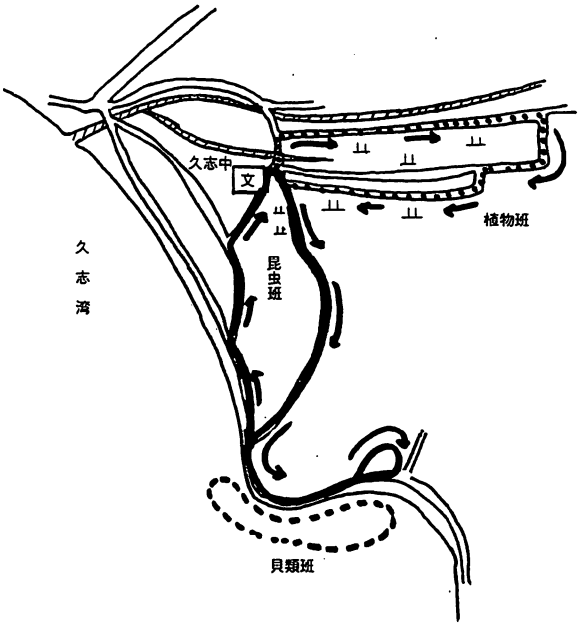
昆虫班，植物班，岩石班，貝類班……班ごとに，野外コースで，300種の名前調べ，調査対象種の確認，調査・観察・採集の方法などを学習する。

(4) 昼　食　　12：00～13：00

(5) 各班ごとの学習　　13：00～14：00

見わけ方，標本の作り方，保管方法などを学習する。

(6) 閉会式　　14：00～14：30



〔昆虫〕

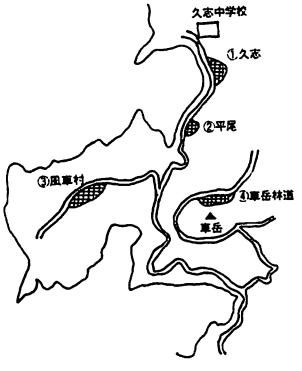
水田地帯から海岸地帯という環境で，ハイビスカス，トウワタ，クロトン，ブーゲンビリア，ランタナといった熱帯性の植物が，コース脇の各民家の庭先にたくさん植えられていた。アゲハ，モンキアゲハ，シオカラトンボ，ハンミョウ，イチモンジセセリなどの300種のほかに，調査対象種の，ツマベニチョウ（１♀），タテハモドキ（夏型１頭）目撃，ミンミンゼミ（１頭）の鳴き声を確認した。

〔植物〕

久志中学校から，川に沿って研修館に至るコースは，水田地帯であり，土手付近にはギシギシ，タカサブロウ等が数多く生えていた。研修館から人家の集落に入るコースでは，オニヤブソテツ，オオイタビ，カラムシ，イシカグマが多く生えており，谷川に沿って，ナンバンキブシ，アカメガシワ，イヌビワ等の樹木が見られた。調査対象種としては，イタジイ，ハチジョウカグマ以外は確認できなかった。

〔岩石〕

坊津町久志付近の露頭を観察し，ここがどのような岩石からできているのかを学習した。



①久　　志・四万十層といわれる地層のサ岩とケツ岩

②平　　尾・阿多火山噴出のヨウケツギョウカイ岩

③風 車 村・古い時代の火山活動でできたカクセンセキアンザン岩

④車岳林道・南薩層といわれる地層のギョウカイ質サ岩とギョウカイシツシルト岩。この地層からの植物化石と火山豆石の採集

第３回　姶良郡姶加治木町竜門滝　８月３日（水）　参加者　151人

〔日程〕

(1) 受　付　　9：30～10：00

(2) 開会式及び出発前の学習　10：00～10：30

(3) 野外観察及び学習　　10：30～12：00

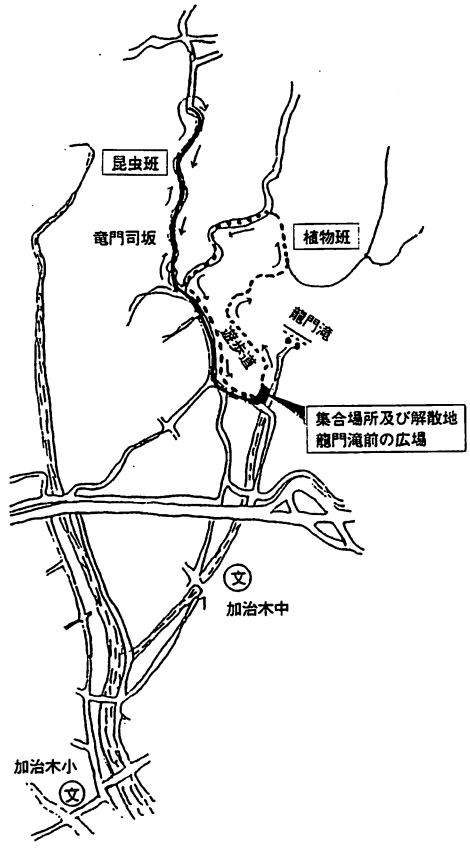
昆虫班，植物班，岩石班……班ごとに，野外コースで，300種の名前調べ，調査対象種の確認，調査･観察･採集の方法などを学習する。

(4) 昼食　　12：00～13：00

(5) 各班ごとの学習　　13：00～14：00

見わけ方，標本の作り方，保管方法などを学習する。

(6) 閉会式　　14：00～14：30



〔昆虫〕

人里から，モウソウ竹林，ハイノキ，イヌビワ，カラスザンショウなどの低木やカラムシ，ミツバゼリ，ヌスビトハギなどのソデ群落を両側にもつ石畳の坂道，スギ林を抜けて最後は開けたススキを優先種とした草地という環境のコースであった。

途中“蝶道”があり，アゲハ，モンキアゲハが入れかわり立ちかわり通りすぎていた。300種では，上記２種の他に，オニヤンマ，シオカラトンボ，ウスバキトンボ，カマキリ，エダナナフシ，キリギリス，トノサマバッタ，アブラゼミ，ニイニイゼミ，アカタテハ，イシガケチョウなどがいた。調査対象種は確認できなかった。

〔植物〕

竜門滝の自然遊歩道は，アラカシ，イタジイの照葉樹林下を通っており，ノシラン，ムラサキニガナ，ヌスビトハギ，ミソナオシ等の草本類が数多く生えていた。滝の上付近は荒れ地になっており，アオモジの小木が数木確認できた。裸地にはヤハズソウ，オニドコロ，イヌタデ等の群生が見られた。調査対象種は，イタジイ，アオモジ以外確認できなかった。

〔岩石〕

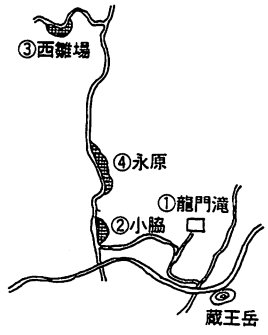
加治木町北部の露頭を観察したり，岩石や化石を採集したりして，このあたりの大地のつくりを学習した。

①竜門滝，蔵王岳　・アンザン岩

②小脇，③西雛場　・加治層といわれる地層のレキ岩，サ岩，デイ岩

・西雛場での植物化石（ブナ）の採集

④永原～西雛場　・姶良火山からのシラス



動　　物

Ⅰ．自然調査会の記録

1988年12月11日（日）　天候（晴れ時々曇）

〔調査地及び参加人数〕　姶良郡蒲生町上久徳（前郷川中流域）　参加者24人

〔主な調査対象種〕　メダカ，カダヤシ，アメリカザリガニ，ドジョウ，テナガエビ類，カワセミ

1．日　程

10：00　蒲生町町民センター集合

10：00～10：30　この一年間の活動状況説明

10：30～12：15　現地調査（前後川中流域）

13：00～14：00　昭和63年度追加対象種の紹介と調査のまとめ

2．調査結果

①調査地域の環境

天気	①晴れ時々くもり◎	前郷川（上流，(中流)，下流）			
気温	17℃	川床	(礫)，砂，(泥)，その他(思いのほかよごれていた)		
風向	ほとんど無風（たまに北風）	川岸	自然堤，(護岸堤)(セメント，(ブロック)，切石，その他)		
			植相　アシ(ヨシ)，ススキ，ミゾソバ，ヨモギ，ヒルムシロ(岡林 巧氏の協力による)		
		流速	約 0.17m/ sec.	水温	10℃
		水深	10cm～60cm	ＰＨ	6.0（BTB試験紙結果）

調査風景

②調査対象種　　○確認　－未確認

メダカ	－	カダヤシ	－	アメリカザリガニ	－
ドジョウ	－	カワセミ	○（一羽）	テナガエビ類	－

③調査対象種外の採集動物

魚類……ハヤ，カワムツ，ドンコ，ヨシノボリの１種

貝類……カワニナ（調査対象種ゲンジボタル生息の可能性あり），モノアラガイ（調査対象種ヘイケボタル生息の可能性あり），シジミ

水生昆虫……ヒラタドロムシ，ヘビトンボの幼虫，ヤンマ科のヤゴ２種（未同定），カワゲラの幼虫２種（未同定）

みんなで名前調べ

④出現鳥類　ハシボソガラス，メジロ，カワラヒワ，イカルチドリ，スズメ，ウグイス，エナガ，クサシギ，ムクドリ，キセキレイ，カワセミ，トビ，ヒヨドリ，ハクセキレイ，ヤマセミ，コゲラ，モズ，コサギ，ツグミ，ホオジロ科 sp．（以上20種調査員今村克行氏の協力による）

昭和63年度応募の新調査員も参加。対象種の調査は思わしくなかったが，調査方法の研修も兼ね，かねて個々に活動している調査員の情報交換も活発に行われた。

Ⅱ．対象種の記録

昨年度と同様に，A．文献による記録，B．標本による記録，C．調査による記録に分けて報告した。なお，「調べよう鹿児島の自然」(1988) No.1 も参照されたい。

1．メダカ *Oryzias latipes* (TEMMINCK et SCHLEGEL)　(メダカ科)

A．文献による記録……新たな文献なし。　B．標本による記録……なし

C．調査による記録

1988年8月10日　樋脇町上手……田の中に無数いた。(標本なし)　松下重信

1988年10月15日　加世田市唐仁原……湿田の中央をはしる溝（幅30～40cm，深さ50cm）で，コンクリート壁その他の人工的な構築物はない。鉄分の多い水が底をわずかに流れている程度。30匹ほど採集し，うち20匹は博物館で飼育し展示している。畑田健治

1989年3月3日　鹿児島市照国神社の池……昨年報告済みの場所であるが，毎年池さらいがあるにもかかわらず，多数生息していた。　畑田健治

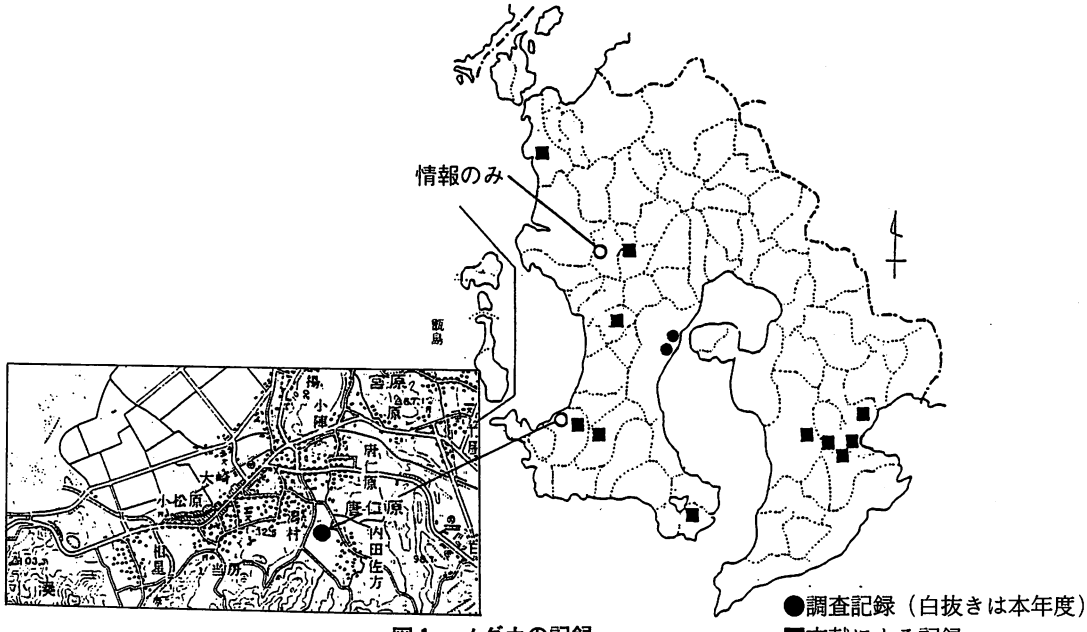


図1．メダカの記録
(今のところ離島からの記録はない)

2．カダヤシ *Gambusia affinis* (BAIRD et GIRARD)　(タップミノウ科)

A．文献による記録……新たな文献なし。　B．標本による記録……なし。

C．調査による記録

1988年10月10日　加治木町町営運動場南及び南東の水路……ここは昨年度報告済みの所だが，今年も多数生息していた。20匹ほど採集し，現在博物館で飼育し展示している。　畑田健治

1988年10月28日　十島村中之島……1979年（昭和54年）ごろ，ボウフラ退治のため，口之島，平島とともに放流されたものらしい。捕虫網で2匹採集し，現在液浸標本として博物館で保管してい

る。　畑田健治

鹿児島県のカダヤシは，放流時期と場所がかなりはっきりしており，その分布調査から，分散の時間的空間的な変化を追跡できる。淡水における帰化動物の今後の動行を探るうえでも調査は必要である。

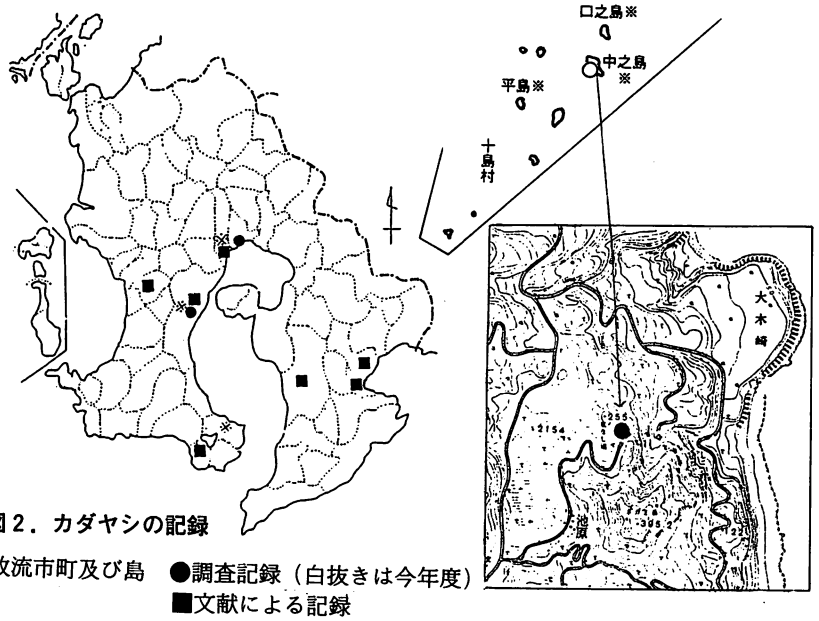


図２．カダヤシの記録

※放流市町及び島　●調査記録（白抜きは今年度）
■文献による記録

３．アメリカザリガニ　*Procambarus clarki*（GIRARD）（ザリガニ科）

A．文献による記録……新たな文献なし。

B．標本による記録……なし。

C．調査による記録

1988年７月28日　川内市平佐町中ノ原……春田川及びそのまわりの荒田に無数生息していた。（標本なし）

松下重信

昨年度いきなり南種子町で新生息地が確認され今年度は特に分布調査の進展が期待された種であったが，調査記録は情報のみ１件に留まった。小学校低学年の教材に取り上げられ，ペットショップでは根強い人気を持っている本種は，様々なルートで県下各地へ分散していく可能性が高い。鹿児島県の自然や生態系に及ぼす影響も考慮しながら注目していきたい。

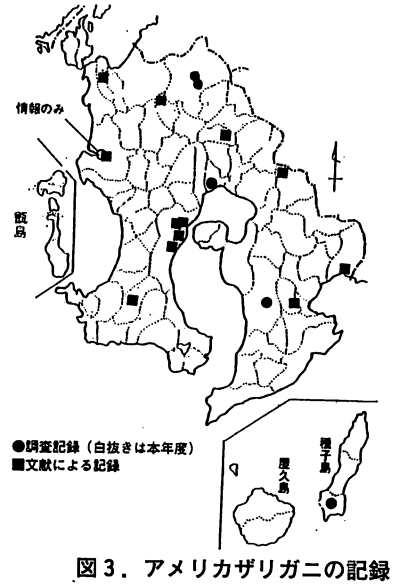


図３．アメリカザリガニの記録

4．タガメ *Lethocerus deyrollei* VUILLEFROY

（コオイムシ科またはタガメ科）

A．文献による記録……新たな文献なし。

B．標本による記録

1985年9月29日　祁答院町藺牟田池　松井英司氏

C．調査による記録……なし。

標本による記録は，9月6日に松井英司氏（熊本県在住）より県立博物館に寄贈されたものである。

タガメは水生昆虫のなかでは一番大きく（5～6.5cm），しかも肉食で，陸水界の食物連鎖の中では上位を占める。止水域を好み，池や沼に好んで棲息する。したがってエサとなる小型水生生物の豊富な安定した生態系を持つ池沼に多く棲息しているものと思われる。

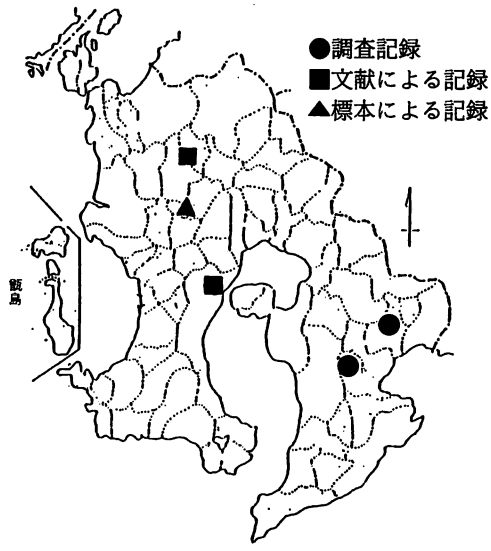


図4．タガメの記録

昨年度に引き続き，調査による記録がなかったが，こういった環境の池沼をねらった，徹底した調査が必要であろう。また，水銀燈やその他の街燈に飛来することがあるらしいので，夏の夜，このような場所の調査も考えられる。

5．ハッチョウトンボ *Nannophya pygmaea* RAMBUR （トンボ科）

A．文献による記録

村岡宏章（1980）ハッチョウトンボの新産地　SATSUMA 29（83）：152

1980年6月15日，姶良郡姶良町北山にて2♂，7月6日にも同地で1♀ 採集。

B．標本による記録

1977年6月5日　松元町　江平憲治

C．調査による記録

1988年6月　姶良郡姶良町北山……山際の休耕田　徳重良丸

文献による新たな記録と調査による記録の場所が同じ所であった。二つの記録には9年間のへだたりがある。9年前の個体群の子孫であるのかどうかはさだかではないが，この地域が，生息環境条件（湧出水のある湿地や湿原など）の整った所であることは間違いない。本種の分布図はまた，こういった場所の分布図であり，その1つに休耕田が含まれることは，人為的な保護が容易であると同時に人為的な絶滅も容易であることをものがたっている。このような生息環境にどのように対応していったらよいのか。本種の分布調査の果たす役割りは大きい。

図5．鹿児島県におけるハッチョウトンボの記録地
（現在，生息しているかどうか不明の場所も含む）

6．ゲンジボタル *Luciola cruciata* MOTSCHULSKY （ホタル科）

A．文献による記録……新たな文献なし。

B．標本による記録……なし。

C．調査による記録〈1988年〉

① 5月9日 隼人町JR日当山駅裏（1♂採集） 昼間草むらにいた。今年の初見記録。樋口 修

② 5月11日 有明町蓬原（1♂採集） 福田南兵衛

③ 5月17日 大根占町城瀬戸山公民館下(10♂採集15匹程度目撃)20：15～20：45 人家の間を流れる用水路の上，比較的高い所(3～5m)を飛ぶ。 大根占町城元河上神社南の畑地（1♂採集10匹目撃）20：55～21：20 水路に沿った道路上の草で光っていた。 柳田一郎

④ 5月19日 蒲生町米丸中村・ゴルフ場入口の用水路（1♂採集）19：47，加治木町上木田隈姫神社下の用水路（1♂採集）20：22 上野武次

宮之城町佐志小学校の池（1♀採集）21：00 竪山敏男

宮之城町湯田（1♂採集）20：30 内堀彰宏

宮之城町時吉（1♂採集）19：30 久保薗美咲

鹿児島市皆与志町（5♂1♀採集） 20：00～21：30 畑田健治

⑤ 5月21日 加治木町市野々竹山ダムの下（1♂採集）20：22 加治木町と溝辺町の町境の清流。加治木町井手向の用水路（1♂採集）20：33 竜門滝の上流にあたる。上野武次

⑥ 5月24日 蒲生町北（1♂採集，50匹程度目撃）21：00 高山産業のあたりの用水路で木や草にとまっているのが多かった。姶良町出口（1♂採集，50匹程度目撃）22：20 出口停留所より100メートルいった用水路のやぶにいた。 上野武次

⑦ 5月26日 宮之城旭町（5♂採集）小玉尉洋子

隼人町松永（2♀5♂採集 500匹以上目撃）20：00～20：30 上小鹿野から津曲にかけ，用水路に少ない所で数十匹，多い所で数百匹がいた。隼人町東郷（2♀3♂採集，1,000匹以上目撃）21：00 用水路の山側の岸のやぶや杉林に乱舞していた。隼人町湯田（500匹以上目撃）21：30 湯田橋付近の天降川西岸にいた。隼人町並石（10匹程度目撃）22：00 新川東岸上をとんでいた。隼人町内山田（3♂採集 20匹程度目撃）22：40 隼人工業高校の裏を流れる用水路にいた。隼人町隼人塚（1♀2♂採集）23：00 隼人塚近くを流れる用水路にいた。隼人町川尻（1♀2♂採集）23：30 かっては水田地帯であったが，宅地化が進んでいる場所で，その中を流れている幅50cmほどの水路にいた。 永仮浩三，畑田健治

⑧ 5月27日 大隅町鍋（1♂採集）守山泰司，隼人町東郷（1000匹以上目撃）00：00 5月26日と同じ場所。深夜にもかかわらずほとんどの個体がとびまわっていた。 守山泰司，福田晴夫，植之原道義，畑田健治

⑨ 5月30日 加治木町迫（1♀採集，7～8匹目撃）21：10 上野武次

⑩ 5月31日 蒲生町新留入口（1♂採集）21：40 100mぐらいの範囲に相当数いた。上野武次

根占町川北字久保（1♀5♂，50匹以上目撃）20：54　水田の用水路一帯，頭上を活発に光りながらとびかっていた。山側の水路のほうがより活発であった。　柳田一郎

鹿児島市三重野（2匹目撃）19：55。鹿児島市山之田川（4匹目撃）20：02。鹿児島市慈眼寺（1♀採集）22：40。鹿児島市公園緑化課職員（泉，宮内），畑田健治

6月1日　国分市日枝神社（1♀採集）。国分市止上神社（1♂採集）。　若松昭伸

6月5日　田代町麓字鵜戸野（2♂採集）　県本土における今年の終見日記録。　柳田一郎

6月7日　屋久島尾之間（2♀2♂採集）　屋久島初記録及び鹿児島県の終見日記録。

真辺広明

今年度は，特別展「ホタルの科学展」（4月27日～5月31日）の開催期間中に，情報提供を呼びかけたこともあって，調査員を中心に多くの情報とそれを裏付ける標本が集まった。成虫出現時期が5月を中心とした短期間で，しかも夜の調査であるので，調査時期をのがさず，たん念に歩きまわることが大切である。

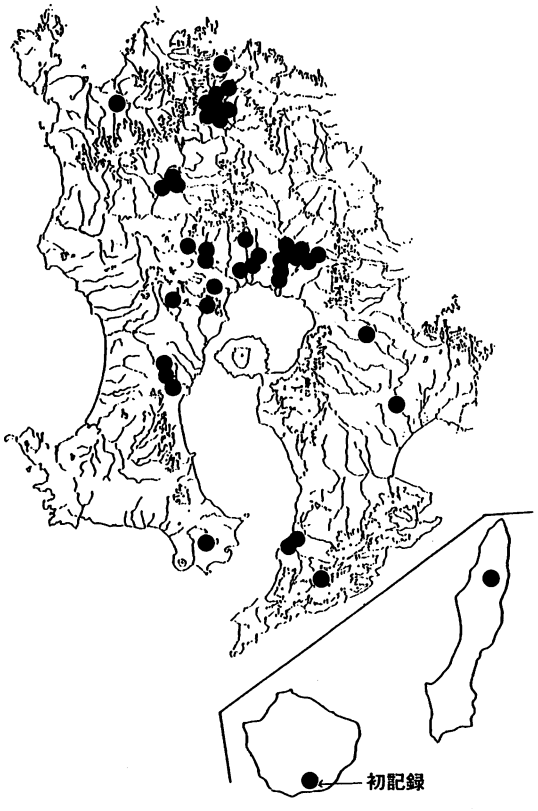


図6．ゲンジボタルの記録

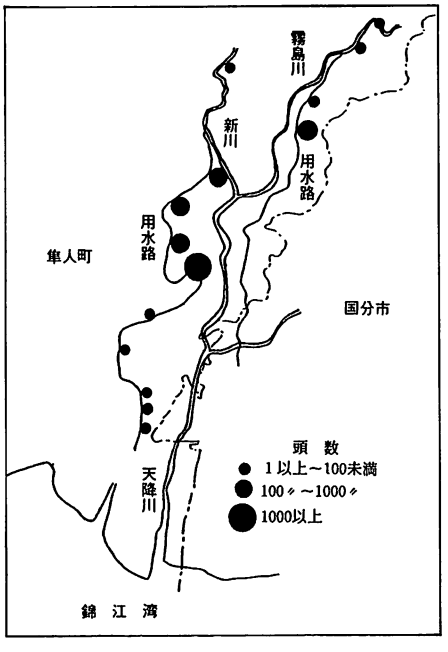


図7．隼人町における生息状況
（1988年5月26日20：00～00：00）

7．ヘイケボタル　*Luciola lateralis* MOTSCHULSKY　（ホタル科）

A．文献による記録……新たな文献なし。

B．標本による記録……なし。

C．調査による記録〈1988年〉

① 5月16日　加治木町西雛場（3♀ 9♂採集）　今年度の初見日記録。　中原敏明

② 5月17日　大根占町城元（1♀ 1♂採集5匹目撃）　20:57～21：20　河上神社南の畑地を流れる水路にいた。水面近くの草の間で光っており，ほとんど動かなかった。　柳田一郎

③ 5月19日　鹿児島市皆与志町（1♀ 2♂採集）　21:00　畑田健治

④ 5月26日　隼人町松永（1♀採集）　20:00。隼人町隼人塚（1♂目撃）　23：00　一たん採集したが逃げられた。隼人町川尻（1♀採集）　23：30。永仮浩三，畑田健治

⑤ 5月31日　川内市永利町加治木～川内バイパス（1♂採集，20～30匹程目撃)。上野武次
田代町川原字鶴園（1♀採集，5匹目撃）　21：10　農業用水路や水田の水面近くの草の上に乗っていた。　柳田一郎。
鹿児島市山之田川（1♂採集　2匹目撃）　20：02　鹿児島市公園緑化課職員（泉　宮内)，畑田健治

⑥ 6月1日　国分市止上神社（1♂採集）
若松昭伸

⑦ 6月19　根占町川北字久保（1♂採集）
20：10　小雨のせいもあるかもしれないが，生息数は非常に少ないようだ。

⑧ 7月21日　宮之城町旭町（1♂採集）
小玉尉洋子

⑨ 7月28日　宮之城町旭町（1♀採集）
小玉尉洋子

⑩ 8月4日　加治木町永原（1♂採集，20匹ほど目撃）　永原小学校のずっと手前から谷を下りていく所。　上野武次

⑪ 9月14日　宮之城町時吉（1匹目撃）
20：45　木にとまっていた。加治木町永原（1匹目撃）　21：30　あぜの草にとまっていた。どちらの場所も1匹だったので手にとって確認したのち放した。今年の終見日記録。　上野武次

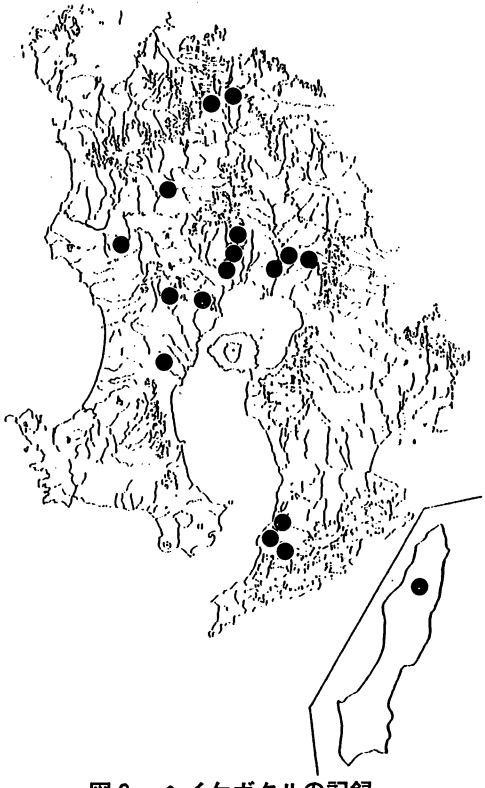


図8　ヘイケボタルの記録

これまで，ヘイケボタルの成虫の出現は5月～9月ごろだと言われていても，鹿児島県では確実な記録がなかった。今回の調査でどうやらそれを裏付ける資料がそろってきた。それにしても，上野氏の終見日記録となった個体の標本がないのはおしいかぎりである。

8．カワセミ　*Alcedo atthis* L.　（カワセミ科）

A．　文献による記録

鹿児島大学野鳥研究会（1988）トカラ列島平島における鳥類調査……〈カワセミ科〉全く見られなかった。

日本野鳥の会　鹿児島県支部（1989）るりかけすNo. 41：6・8……大隅湖　1989年1月15日，国分干拓　1988年10月9日，12月11日

B．標本による記録

姶良郡霧島　1958年4月：1羽，鹿児島市和田　1959年6月26日：♂1羽，鹿児島市黎明館　1983年2月6日：1羽，川辺郡大浦町，1985年6月15日：1羽，

C．調査による記録〈1987年1月～1989年3月〉

① 大根占城元　1987年1月31日　13：42　1羽目撃……神川上流で町道厚ケ瀬線厚ケ瀬橋下，川辺の石，枝にとまり，魚を見つけると上昇し，急降下している。　柳田一郎

② 大根占町馬場字半ケ石　1987年2月24日　14：00　1羽目撃……後谷川と山神神社社林で川沿いの枝から約4m下の川に急降下して採餌中，砂防工事の上流であるが，機械の動きを気にしていない。　柳田一郎

③ 隼人町真孝　1988年2月　1羽凍死体　赤沢正治

④ 隼人町天降川（新川橋）　1988年6月4日　2羽目撃うち1羽は写真撮影……写真に収めたのは今回が初めてであるが，これまでの調査中もしばしば目撃している。　赤沢正治

⑤ 鹿児島市中山町大園川流域　1988年7月24日　6：30　1羽目撃，7月26日　6：00　1羽目撃……自宅前（中山町1583－1）の川の上を上流へ飛んでいった。5．6年前までは2～3羽見られたが，大園川の上，下流が水門でしめられて流れなくなり，魚影が全く見られなくなった現在，1羽見るのもきわめて珍しくなった。　川島吉治

⑥ 川内市永利町平佐川　1988年8月3日　1羽目撃。　松下重信

⑦ 鹿児島市中山町大園川　1988年9月27日　13：30　2羽目撃。　川島吉治

⑧ 財部町大川原峡　1988年9月30日　1羽目撃……以前来た時も目撃している。　赤沢正治

⑨ 国分市国分干拓須戸川水門　1988年10月9日　10：00　目撃（個体数未記録）……ホバリングをして水面に急降下。小魚を採る。（日本野鳥の会鹿児島県支部定例探鳥会参加の時の記録）　柳田一郎

⑩ 佐多町田尻　1988年10月30日　9：38　2羽目撃……田尻港駐車場防波堤。10mまで接近するも飛び立たず。求愛の最中らしく，1羽（オス）がくちばしを上にむけて，盛んにさえずり，だんだん近づいていくなど，ほほえましいことであった。　柳田一郎

⑪ 田代町花瀬　1988年12月19日　13：00　1羽目撃……料亭「花瀬川苑」前の雄川（花瀬川）を上流から下流へ飛びさった。昨年からの聞き取り調査で，このふ近に生息していることはわかっていたが初めて確認できた。　柳田一郎

⑫ 鹿屋市上高隈町大隅湖　1989年1月15日　10：00　1羽目撃……湖北端で，湖内の柱の上や鉄柱（カヌーレース用？）の上にとまる。（日本野鳥の会鹿児島県支部大隅湖探鳥会参加

の時の記録）　柳田一郎

⑬ 鹿児島市平川　1989年３月12日　12：00　１羽目撃……平川動物公園リス橋下の川。以前から生息していることが知られていたが，たまたま橋にさしかかった時，上流へ飛ぶのをま上から視認した。　柳田一郎

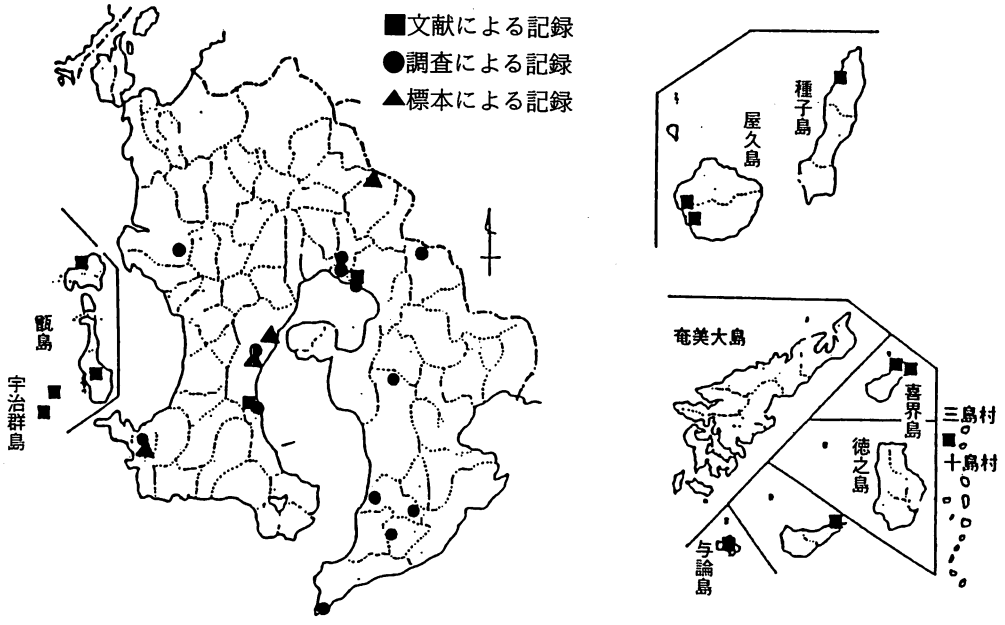


図９　カワセミの記録

９．タテハモドキ　　*Precis almana* L.　（タテハチョウ科）

A．文献による記録〈1987・1988年〉

①小路嘉明（1987）鹿児島県で1987年９月に採集した蝶，SATSUMA　36（78）：92

②畑田健治（1987）祁答院町初記録のタテハモドキ，SATSUMA　36（98）：105

③福田晴夫・守山泰司（1987）1987年の迷チョウ記録ノート，SATSUMA　36（98）：106－108

④中峰芳郎（1988）川内市の*Precis*情報，SATSUMA　37（99）：41

⑤田中　洋（1988）皆与志町のタテハモドキ目撃記録，SATSUMA　37（99）：41

⑥ ――― （1988）タテハモドキをＪＲ伊集院駅前で目撃，SATSUMA　37（99）：41

B．標本による記録……なし。

C．調査による記録〈南から北へ〉

①佐多町田尻漁港入口駐車場　　①～③の調査者：柳田一郎

1988年９月18日（夏型３頭目撃）；10月10日（秋型15頭目撃）

②根占町辺田「台場跡」

1988年５月17日（秋型１頭目撃）“夏型ではなく秋型でした。”

③大根占町城元

1988年４月16日（秋型１頭目撃）；９月３日（夏型１頭採集）；９月17日（夏型１頭採集）；９月27日（秋型20頭以上目撃）“一斉に羽化したらしい。秋型の初見。以後一週間この付近にいた。”〈その後は密源の花や越冬地の樹林を求めて分散した？〉

④国分市国分干拓，1988年10月９日（秋型５頭目撃）　柳田一郎

⑤国分市国分中学校と市立体育館の間の休耕田，1988年９月25日（多数乱舞）；国分駅付近　10月15日(目撃)　福岡孝

⑥日吉町黒川洞穴付近，1988年８月17日（夏型１頭）　福留幸一

⑦鹿児島市五ケ別府町三重野と谷の中間，1988年９月16日（１頭のみ）　福留幸一

⑧鹿児島市上竜尾町鹿商野球グランド付近，1988年10月（多数目撃）“キバナコスモスにツマグロヒョウモンなどと共にむらがっていた。”　森重やす子

⑨鹿児島市加治屋～下荒田の天保山橋〈甲突川畔〉　1988年10月５日（多数目撃）　畑田健治

⑩川内市高城町麓，1988年９月11日（秋型２頭採集２頭目撃）；９月15日（２頭採集３頭目撃)；９月17日（１頭採集２頭目撃)；10月９日（１頭目撃）“ギョウギンバに産卵した。１週間後調べても変化していなかった。無精卵？”　田島俊洋

⑪鶴田町神子湯田原，1989年９月３日（夏型１頭採集：山下氏)；９月25日（秋型１頭採集：山下氏)；鶴田小学校，10月中旬（１頭採集：四位氏)；鶴田中学校，10月中旬（１頭目撃）　田島俊洋

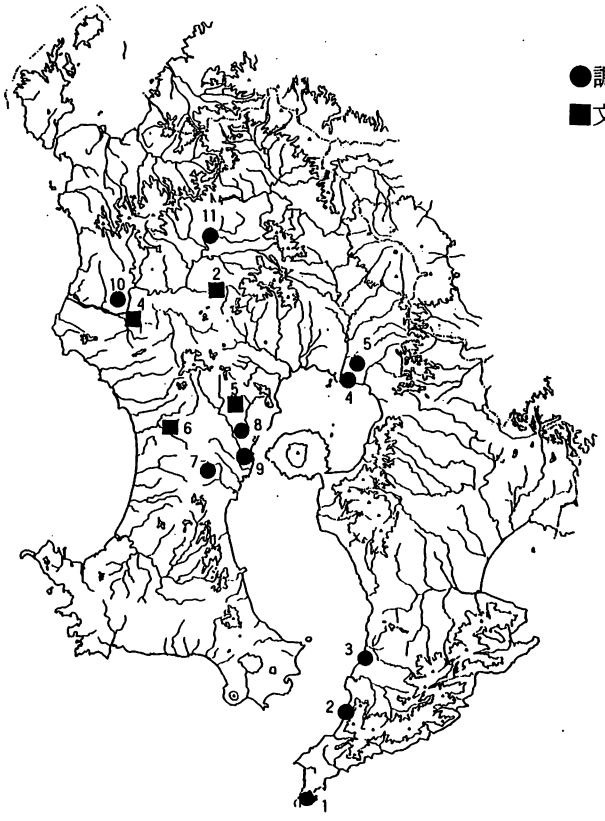


図10　タテハモドキの記録（1987～1988）

10. ツマベニチョウ　*Hebomoia glaucippe* L.　（シロチョウ科）

A．文献による記録〈1987・1988年〉

①上野貴将（1987）悪石島と宝島（トカラ列島）の蝶類調査報告，INSECT TIMES（34）：50－51。〈早稲田大生物同好会〉

②福田晴夫（1987）鹿児島市内のツマベニチョウの記録，SATSUMA　36（98）：102

③福田晴夫・守山泰司（1988）トカラ悪石島，1987年８月の調査記録，SATSUMA　37（99）：11－16。

④山下秋厚（1988）徳之島の昆虫1986年12月～1988年２月の記録，SATSUMA　37（99）：17－25。

B．標本による記録……なし

C．調査による記録〈南から北へ〉

①南種子町西之西野中学校。1988年12月５日（１♀採集）“２校時（９：35～10：25）の授業中に理科準備室に入ってきた。今年の終見記録。”　小迎寿一郎

②佐多町佐多岬。1988年５月26日（15頭位目撃）；島泊，５月26日（１頭目撃）　柳田一郎

③佐多町田尻漁港駐車場。1988年10月10日（６頭目撃）　柳田一郎

④財部町　財部小学校。1988年10月20日（１♀目撃：校内の花園）　有馬純生

⑤鹿児島市平川動物公園内。1989年１月27日（蛹11頭，幼虫２頭：植栽ギョボク）　松山耕久

⑥志布志町四浦　1988年10月10日（１♂採集）　森村靖彦

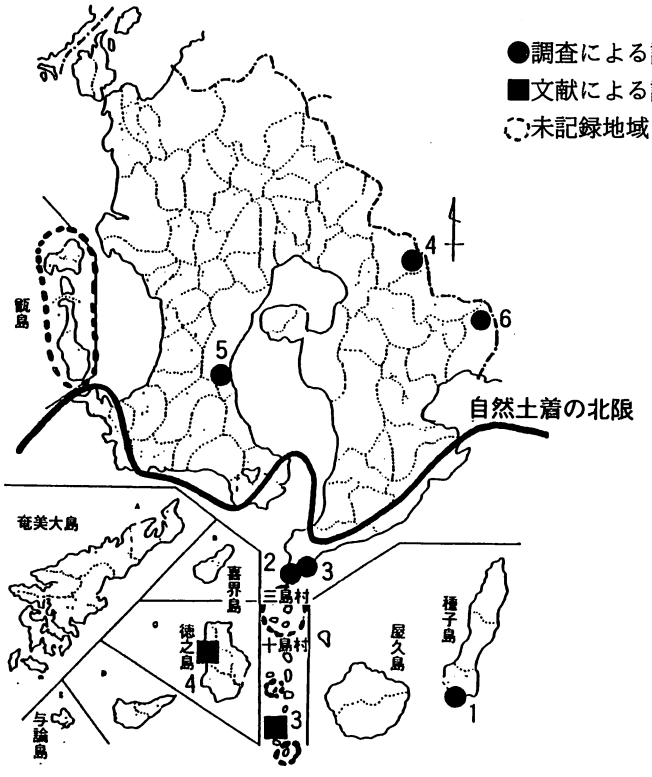


図11　ツマベニチョウの記録（1987～1989．１）

11. テナガエビ類　（テナガエビ科）

テナガエビ　*Macrobrachium nipponense* (DE HAAN)

ミナミテナガエビ　*M. longipes* (DE HAAN)

ヒラテテナガエビ（ヤマトテナガエビ）*M. japonium* (DE HAAN)

A．文献による記録

① 上田常一（1970）日本淡水エビ類の研究：110, 115, 198－203, 松江　園山書店

ミナミテナガエビ〈1957年〉

奄美大島：名瀬（高校前の新川），8／4，1（幼）；浦上（浦上川），8／4，31（幼）〔3（成2幼1）〕；小湊（山田川），8／5，7（成1幼6）〔2（成1幼1）〕；名瀬勝（大川），8／5，2（幼）〔1〕；西仲間（住用川），8／6，5（抱卵1）〔8〕；西仲間（石やご川），8／6，〔1〕；西仲間（住用川支流の冷川），8／6，〔1〕；山間（山間川），8／6，1（幼）〔2（成1幼1）〕；興福地谷入口（住用村），8／7，1（幼）；恩勝（大和川），8／7，11（成6幼5）〔7〕；住用村興福地谷，7／7／63，〔11〕。

屋久島：一湊（一湊川），7／25，4（抱卵3）〔3〕；小瀬田（女川口），7／26〔1〕；安房（水田の溝川），7／29，35（幼）。種子島：島間（島間川），7／29，3〔1〕。

ヒラテテナガエビ〈1957年〉

奄美大島：浦上（浦上川），8／4，3（抱卵1）〔1〕；西仲間（石やご川），8／6，2（抱卵）〔14〕；西仲間（冷川），8／6，11（抱卵）〔3〕；山間（山間川），8／6，1計17（抱卵12）〔18〕；西仲間冷川渓流，6／17／63，9（抱卵）〔8〕；住用村興福地谷，7／7／63，〔2〕。

徳之島　1956年8月5（4抱卵）

②税所俊郎（1986）大隅地区環境保全対策基礎調査　水生生物調査（甲殻類．プランクトン）：457－461，九州農政局計画部資源課……1976年5月～12月，テナガエビ及びミナミテナガエビは大隅の全河川に生息。ヒラテテナガエビは肝付川水系に多い。

③ 税所俊郎（1973）鹿児島湾周辺地域の淡水系甲殻類調査：176－180，鹿児島県自然愛護協会……甲突川，1973年4月現在，中流下流全域にわたりテナガエビ及びミナミテナガエビが生息。本城川，中州橋から下本城橋の付近にかけて，テナガエビ・ミナミテナガエビ・ヒラテテナガエビが生息。天降川，1972年12月6日テナガエビ3尾採集。別府川，テナガエビ・ミナミテナガエビ。ヒラテテナガエビ生息。

B．標本による記録……調査中

C．調査による記録

① 佐多町伊座敷　1987年7月11日　テナガエビ1尾採集。　畑田健治

② 坊津町久志　1988年6月30日　ヒラテテナガエビ1尾採集。　畑田健治

③ 坊津町久志　1988年10月15日　テナガエビ4尾採集　川越良昭

④ 大根占町城元　1989年2月21日　テナガエビ類（種名不明）1尾採集……町営港団地の側溝。団地国道側に湧水があり，その水が流れ込む側溝のため水質が良い。カワニナ，サワガニ，スジエビも多数生息。現在飼育中。　柳田一郎

※聞き取り調査……（柳田氏の職場の上司より）　佐多・根占町境の大川河口付近にて1988年，30尾ほどのテナガエビ類（種名不明）を採集した。

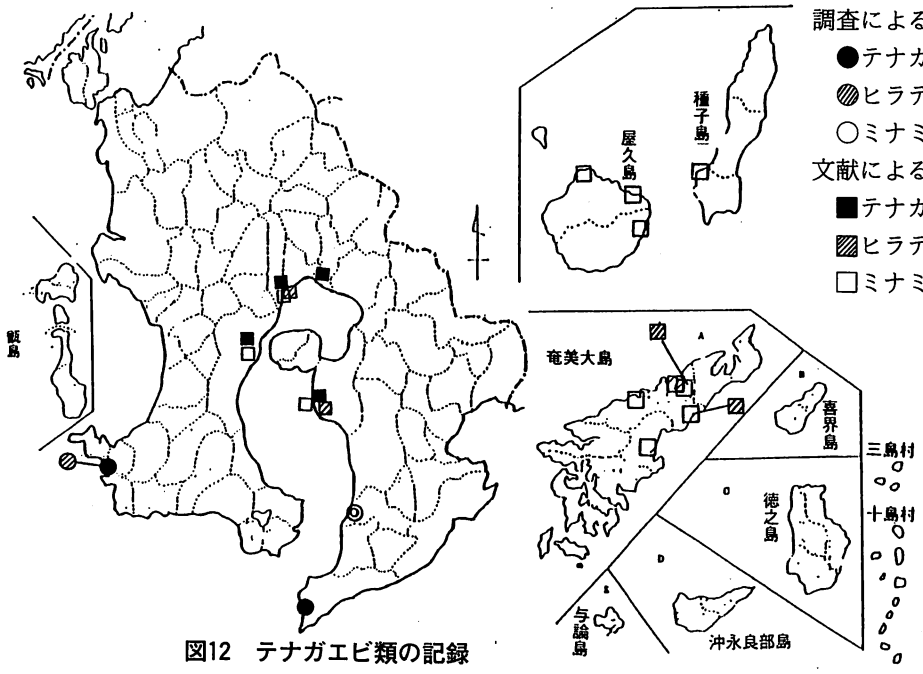


図12　テナガエビ類の記録

12. ドジョウ　*Misgurnus anguillicaudatus*（CANTOR）（ドジョウ科）

A．文献による記録

① 今井貞彦（1973）　鹿児島湾周辺地域の河川魚類相の現状：171，鹿児島県自然愛護協会……鹿児島湾へ流入する河川にいる魚類リストとして記録されている。

② 今井貞彦（1974）　鹿児島県西部の河川魚類の現状：123－128　鹿児島県自然愛護協会……高松川　1973年9月14日，はまだ橋下流，鶴河内，田代中地区で採集（数量不明）。

③ 四宮明彦（1986）大隅地区環境保全対策基礎調査　水生生物調査　淡水魚：512・513　九州農政局計画部資源課……肝属川にごく普通

B．標本による記録……調査中

C．調査による記録

加世田市唐仁原　1988年10月15日（3匹採集）……湿田の真中を通る幅30～40cm，深さ50cmの溝，人工的な溝築物はなく，鉄分の多い水が底をわずかに流れている。2匹は現在県立博物館で飼育中である。

畑田健治

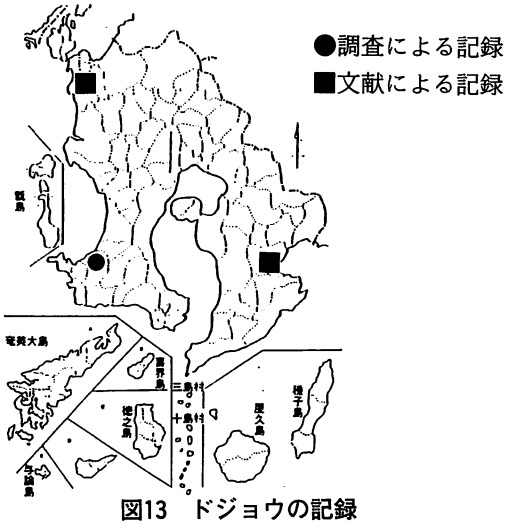


図13　ドジョウの記録

13. トノサマガエル *Rana nigromaculata* HALLOWELL （アカガエル科）

A．文献による記録

① 森田忠義（1986）大隅地区環境保全対策基礎調査 哺乳類・爬虫類・両生類：232・233 九州農政局計画部資源課……1985年12月現在大隅地区全域に生息。平地，耕作地に多い。

② 森田忠義（1984）大隅諸島・屋久島の哺乳類，爬虫類及び両生類相について，屋久島原生自然環境保全地域調査報告書：695，環境庁自然保護局……種子島・屋久島に生息，ただし屋久島は移入。

③ 森田忠義（1986）宇治群島の動物をたずねて，理科部会誌 No.28：34，鹿児島県高等学校教育研究会理科部会……上甑島の両生・爬虫類〔柴田による〕（1975. 5. 14～18）トノサマガエルの記録あり。

B．標本による記録……調査中

C．調査による記録……なし。

本年度新たに追加された種で，これまで，あまりにも普通種であったせいだろうか，生息場所を特定する確かな記録が見あたらない。来年度の調査に期待したい。

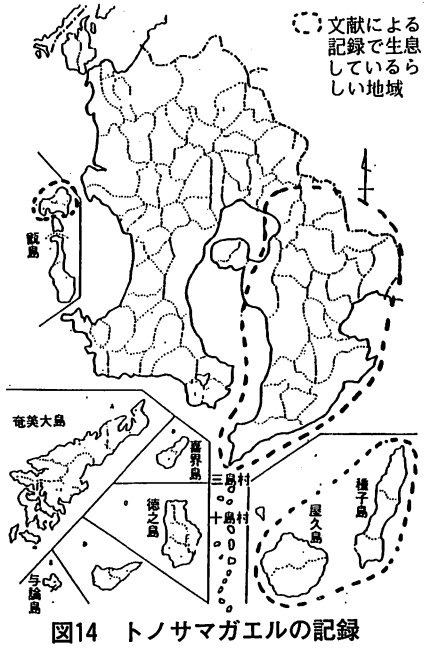


図14 トノサマガエルの記録

14. クマゼミ *Cryptotympana facialis facialis* WALKER （セミ科）

A．文献による記録

① 福田晴夫（1968）鹿児島県のセミ，SATSUMA 17 (50)：3

川辺郡：笠沙町野間岬（1963. Ⅶ. 25, 1♂, 福田晴夫），笠沙町野間池（1965. Ⅷ. 4, 1♂, 谷山マリ子）

肝付郡：佐多町大輪島（1963. Ⅷ. 14, 1♂2♀，福田晴夫・田中洋），佐多町びろう島（1963. Ⅷ. 14, 2♂, 1♀，田中洋・久木野和暁），佐多岬（1963. Ⅷ. 13, 1♂，肥後昌幸）

甑島：下甑村片之浦（1966. Ⅷ. 18～22, 4♂ 2♀，田中洋）

種子島：浜津脇（1965. Ⅷ. 25, 46♂ 22♀，山下秋厚）

屋久島：湯泊（1967. Ⅶ. 29, 4♂ 1♀，田中章）

口永良部島：本村（1967. Ⅷ. 22～25, 2♂ 2♀，若松昭三郎）

トカラ列島：中之島（1964. Ⅶ. 24～27, 13♂ 15♀，田中章・大我俊輔ほか）

宝島（1964. Ⅶ. 13～21, 7♂ 2♀，田中章・大我俊輔・嶋洪）

以上のほか鹿児島市，加世田市，金峰町，指宿市，山川町，奄美大島などの記録がある。

② 岡留恒丸（1973）屋久島の昆虫相：32 屋久町教育委員会……安房．船行．栗生－尾之間

③ 福田晴夫．竹村芳夫．永冨昭（1974）昆虫調査 薩摩半島西部と北薩の昆虫類 昭和48年

度調査：164，鹿児島県自然愛護協会……海岸付近，低地の樹林に多いが，奥地や高地では少ない。7月中旬から9月に出現する。

④ 福田晴夫（1983）鹿児島県のセミ雑記，SATSUMA 32（89）：16－28……九州本島，霧島山，長島，上甑島，下甑島，枇榔島（志布志湾），黒島，種子島，屋久島，口永良部島，口之島，中之島，諏訪瀬島，悪石島，宝島，横当島，喜界島，奄美大島，徳之島，沖永良部島，与論島に分布する。

⑤ 福田晴夫（1986）宝島の昆虫，宝島自然環境調査報告書（2－2）：44，鹿児島県……今回の調査では全く記録することができなかったが，これまで知られている種としてはニイニイゼミ，クマゼミ，クロイワツクツクの3種がある。

⑥ 福田晴夫（1987）クマゼミのいない島 CICADA 7（2/3）日本セミの会々報：33－34……1983年7月7～19日沖永良部島和泊町では，多くのクマゼミが見られ，多数の個体を採集した。1984年7月5～13日徳之島伊仙町，徳之島町，天城町いずれも確認できず。1985年7月5～10日奄美大島名瀬市，10～14日古仁屋いずれも確認できず。1987年8月徳之島，奄美大島，古仁屋，喜界島いずれも確認できず。1976年8月7～8日，1987年8月7日，中之島，きわめて多くの個体が見られた。1987年8月18～19日，悪石島，ごく少数の個体の鳴き声と死んでいる個体数頭，脱皮殻多数を確認する。

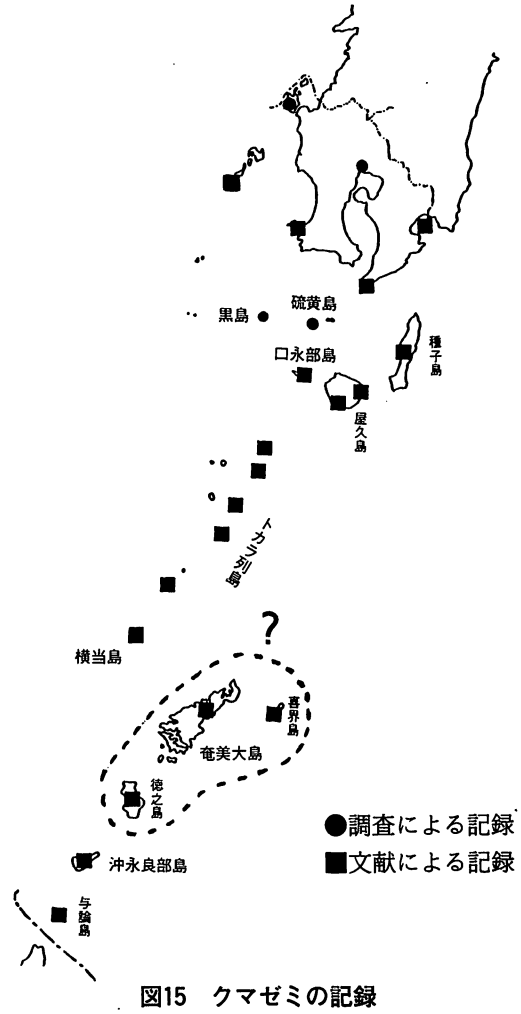


図15 クマゼミの記録

B．標本による記録……調査中

C．調査による記録

① 黒島片泊 1986年10月11日 脱皮殻2個確認 畑田健治

② 長島町指江 1986年7月30日 多数の鳴き声確認 畑田健治

③ 姶良町鍋倉 1986年8月3日 多数の鳴き声確認 畑田健治

④ 硫黄島 1987年9月11日 枝にしがみついたまま死んでいる個体2頭を採集 畑田健治

福田（1983）は，県下全域の分布を示したが，1987年に，沖永良部島，与論島を除く奄美諸島の分布に疑問を投げかけた。これに対して次のような情報が電話で寄せられた。

◦喜界島　湾　1988年７月20日ごろから25日にかけて鳴き声を聞いた。界正子

◦喜界島　湾(町立湾幼稚園のセンダンの木)1988年７月初旬～中旬鳴き声を聞いた。浜田隆子

◦徳之島　1988年７月17日鳴き声を聞いた。勝忠伝

これらの情報については，今後実物を採集し，標本として残す必要がある。

15. ミンミンゼミ　*Oncotympana maculaticollis* MOTSCHULSKY　(セミ科)

A．文献による記録

① 福田晴夫（1968）鹿児島県のセミ，SATSUMA　17（50）：6－7

霧島山：高千穂山麓皇子原（1956. Ⅷ. 5，1♂，田中洋），高千穂峰中腹（1956. Ⅷ. 10，1♂，志和池昭一郎）

出水市：紫尾山（1967. Ⅷ. 15，1♂，溝口文男）

甑島：下甑村片之浦（1966. Ⅷ. 下旬，1♀，子供採→田中洋）

下甑村での鳴き声の記録（1966年）田中洋

８月18日　手打～片野浦（峠付近）９：20～９：30，数匹

８月19日　片野浦～浜田（海岸）17：25，１匹；18：15，１匹

８月20日　片野浦　７：50，１匹

８月21日　〃　16：00，１匹

８月24日　長浜（船から）　７：00，１匹

その他，鹿児島市竜ケ水1966年８月17日１♂採集。若松茂生，鹿児島市宇宿町（竹村. 1965），鹿屋市の海岸（上宮氏の御教示），志布志町西谷（福田が小学生時代に確認）など。

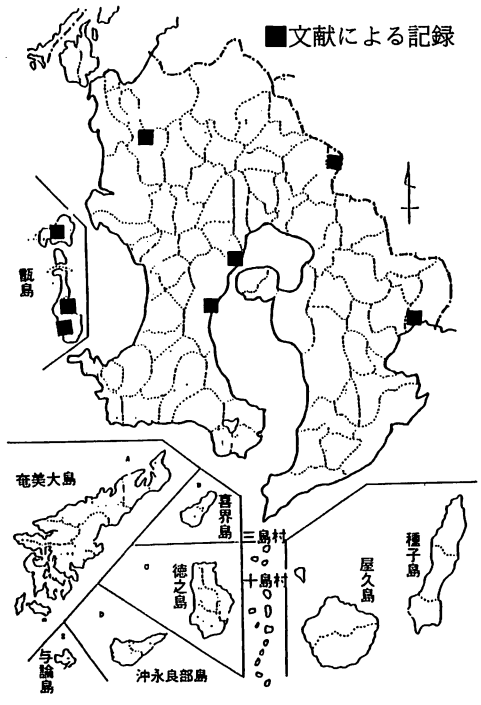


図16　ミンミンゼミの記録

② 福田晴夫　竹村芳夫　永冨昭（1974）昆虫調査薩摩半島西部と北薩の昆虫，昭和48年度調査：164，鹿児島県自然愛護協会……海岸近くの樹林から紫尾山などの中腹付近まで分布記録は少なくないが，個体数は地域差が大きく，生息地も局所的な傾向を示す。

③ 福田晴夫（1983）鹿児島県のセミ類雑記，SATSUMA　32（89）：16～28……九州本島，霧島山，上甑島，下甑島

B．標本による記録……調査中

C．調査による記録

坊津町久志1988年７月31日鳴き声確認（１匹）　畑田健治

本種の調査対象種指定がシーズン後にずれ込み，詳しい調査ができなかった。独特の鳴き声なので生息の確認は容易である。生息環境とあわせた来シーズンの調査に期待したい。

16. ベニトンボ *Trithemis aurora* BURMEISTER （トンボ科）

A．文献による記録

① 竹村芳夫(1964)鹿児島県の昆虫，鹿児島の自然：268，鹿児島県理科教育協会……1954年８月池田湖畔で採集され，引き続いて隣接の鰻池にもすんでいたことが判明した。

② 福田晴夫(1978)第２回自然環境保全基礎調査動物分布調査報告書(昆虫類)「日本の重要な昆虫類」，南九州・沖縄版：41 環境庁編……鰻池(山川町)，池田湖(指宿市)以上現認。宮ケ浜(指宿市)，鳥居（指宿市），鏡池(開聞町)以上文献による。

③ 石田勝義他３名（1988）日本産トンボ幼虫・成虫検索図説：123，東海大学出版会……1986年奄美大島で記録

B．標本による記録

① 鰻池 1975年10月17日（１♀ １♂） 江平憲治

② 鰻池 1981年９月28日（１♂） 福田晴夫

③ 尾下(山川町)1983年９月26日(１♂） 福田晴夫

④ 鰻池 1987年８月４日（２♂） 畑田健治

C．調査による記録……なし。

トカラ列島，及び奄美諸島の調査の進展を図りたい。

図17．ベニトンボの記録

17. キイロスジボタル *Curtos costipennis* （GORHAM）（ホタル科）

A．文献による記録

① 中根猛彦，大場信義(1981)ホタルの飼育と観察：98－99，ニュー・サイエンス社……中之島，口之島，奄美大島から記録。

② 大場信義（1986）ホタルのコミュニケーション：61－65，東海大学出版会……奄美大島，中之島，口之島から記録。

③ 大場信義（1986）光の日本地図 アニマ７号 No162：36，平凡社……南西諸島に広く分布。

B．標本による記録

中之島 1982年７月15日 ３頭，高井 泰

C．調査による記録……なし

本種の分布は，トカラ列島口之島以南といわれているが，確実な記録として本県に残っているのは，上記の標本３頭だけである。各島々の調査記録がほしい。

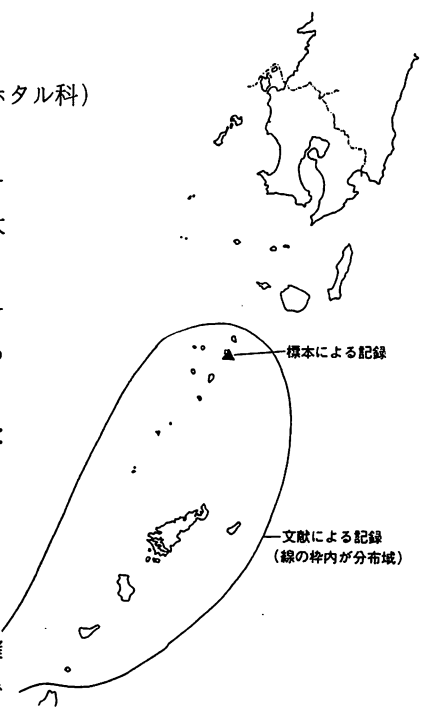


図18．キイロスジボタルの記録

18. メスアカムラサキ *Hypolimnas misippus* L. （タテハチョウ科）

A．文献による記録＜1987年＞

① 小路嘉明（1987）鹿児島県で1987年９月に採集した蝶，SATSUMA 36(98)：92

② 三橋　渡（1987）徳之島におけるチョウ11種の記録，SATSUMA 36(98)：93－96

③ 尾形之善（1987）1987年種子島における迷チョウの記録，SATSUMA 36(98)：78－100

④ 小山田茂（1987）長島でメスアカムラサキ，アホタテハモドキを採集，SATSUMA 36(98)：100

⑤ 今村隆夫（1987）佐多町での採集記録より（1987年），SATSUMA 36(98)：105

⑥ 福田晴夫･守山泰司（1987）1987年の迷チョウ記録ノート，SATSUMA 36(98)：106－108

⑦ ――――・――――（1987）トカラ悪石島，1987年８月の調査記録，SATSUMA 37(99)：11－16

⑧ 山下秋厚（1988）徳之島の昆虫1986年12月～1988年２月の記録，SATSUMA 37(99)：17－25

⑨ ――――（1988）徳之島の迷蝶３種の記録（1987年），SATSUMA 37(99)：43－44

⑩ 橋元紘爾（1988）根占町の迷蝶の記録（1987年），SATSUMA 37(99)：45－46

⑪ 坂口邦彦（1988）北薩地方のメスアカムラサキについて，SATSUMA 37(99)：50

⑫ 北村英忠（1987）屋久島でメスアカムラサキを採集，蝶研フィールド２(11)：26－27

⑬ 小路嘉明（1987）1987年９月，屋久島で採集・目撃した迷蝶，蝶研フィールド２(12)：29

⑭ 藺牟田忠ほか（1988）迷チョウの飛来地と発生について，昭和62年度科学を楽しむ少年団活動経過と研究報告：24－25

B．標本による記録……大浦町亀ケ丘（５♀採集），頴娃町大野岳（２♀採集）いずれも1988年８月11日　堂原宗博，藺牟田忠，仮屋好浩

C．調査による記録……大浦町亀ケ丘　1988年８月16日（２♀目撃）　畑田健治

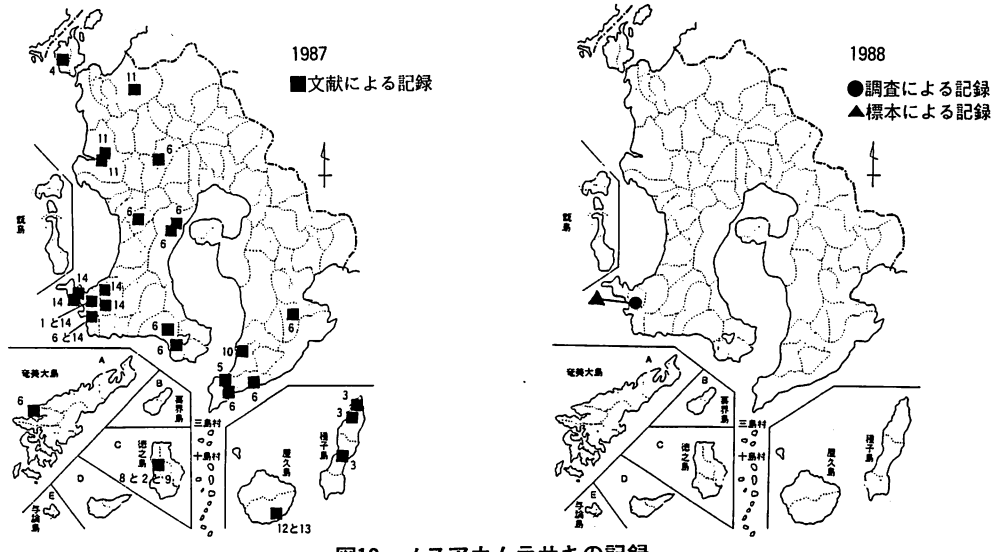


図19．メスアカムラサキの記録

19. タヌキ *Nyctereutes procyonoides* GRAY （イヌ科）

A．文献による記録

① 森田忠義（1973）Ⅶ獣類調査 鹿児島湾周辺地域の獣類 鹿児島湾周辺地域自然保護基本調査 昭和47年度調査：241，鹿児島県自然愛護協会……全域に分布。

② ――――（1974）Ⅶ．獣類調査 薩摩半島西側及び北薩地方の哺乳動物 鹿児島県西部及び北部地域自然環境保全基本調査：昭和48年度調査：184，鹿児島自然愛護協会……紫尾山系，串木野市の弁財天山，火立ケ丘，冠岳，薩摩町，笠松山，東市来町の大峯ケ原，坊津町の今岳，車岳に分布。

③ ――――（1986）動物調査，哺乳類，爬虫類，両生類，環境保全対策基礎調査報告書 大隅地区：228－229，九州農政局計画部資源課……全域に分布。

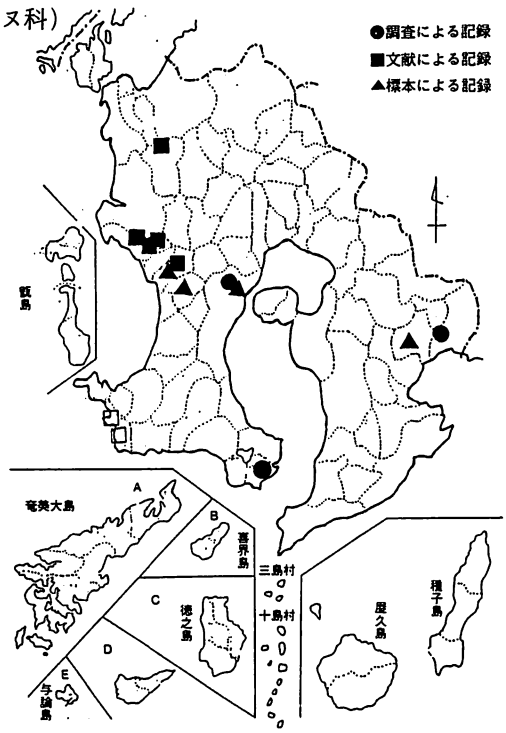


図20．タヌキの記録

B．標本による記録

伊集院村石谷 1955年12月1日（1頭） 園田武二。有明町野神 1981年12月24日（1♀1♂）福永一夫，地口正真。鹿児島市岩崎谷 1984年3月4日（1頭）二町一成。東市来町養母 1984年10月22日（1頭）甲斐修。

C．調査による記録

鹿児島市坂元町鹿商グラウンド横 1988年7月～8月（親2，子4頭目撃）森重やす子。志布志町安楽 1988年9月11日(1頭死体)佐藤彰。山川町多目的研修館近くのカーブ 1989年3月19日（1頭死体）柳田一郎

20. キツネ *Vulpes vulpes* （L.）

A．文献による記録

第2回自然環境保全基礎調査 動物分布調査報告（1978）鹿児島県……大口市，串木野市，八重山（以上北薩，西薩），指宿市（南薩），国見，霧島山地，国分市（以上姶良），日南，高隈，肝属山地（大隅）

B．標本による記録

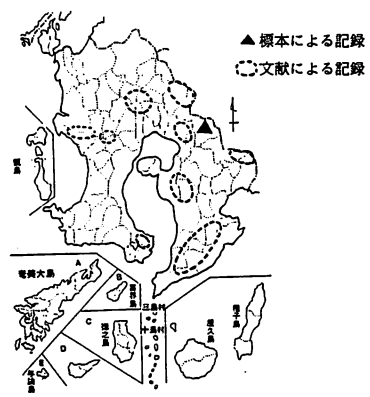


図21．キツネの記録

有明町 1979年12月17日（1頭）榎園義則。財部町南俣 1981年12月24日（1♂）榎園義則。財部町 1984年1月29日（1♂）榎園義則

C．調査による記録……なし。